

## 給食指導困ってませんか？

給食の時間は、多くの子どもが楽しみにしている時間です。

でも、給食指導が大変・・・おかずをこぼす、お皿を落とす、配膳のトラブル（給食がない）、食べ残し、食べ歩き・・・と思っている先生方もいるのではないのでしょうか。

いろんなことが同時進行して、結局先生は給食を食べられなかったということもあるかもしれません。学級が荒れていると、もっと困ったことが起きることもあります。いじめや力関係の問題が起りやすい時間でもあります。

社会背景や家庭のしつけ機能の低下などが要因に考えられますが、子どもも楽しく、先生も楽しく、給食を食べられるように「京のせんせいの知恵袋」からヒントになることを紹介しましょう。



給食の時間を楽しくスムーズに進めるために

### ステップ1 「ルールの徹底」

4月給食が始まる前に、学級指導で給食のルールの説明を行い、給食のルールを徹底させましょう。曖昧なルールにするとトラブルの原因になります。

そして給食の始まる日に、給食のねらいとルールをもう一度確認しましょう。

「給食時間は、学級のみんなと楽しく食事をすることが大切です。ただ昼食として食べるのではなく、人と食事をするときのマナーを勉強したり、食べ物と健康について考えたりする時間です。また、みんなで給食の配膳をしたり片付けたり力を合わせる時間です。楽しく食べるためにルールを守って、みんなで楽しい給食の時間にしましょう。」



### ステップ2 「当番活動の明確化」

(当番活動の前に)

- 当番は1週間交代の輪番制
- エプロン番号・・・体の大きさに固定 誰が何番のエプロンを着けるのか決めておく
- 分かりやすい給食当番表を作って貼っておきましょう。

「誰が 何を どのようにするのか」・・・公平な役割分担になるように

(当番の仕事)

- 衛生・服装の徹底・・・手をきれいに洗い、エプロン、マスクを着用する
- 給食の配ぜんの規則・・・個数が決まっているおかずは均等配分  
個数が決まっていないおかずは、基本は量を等分にする  
(基本の量を教師があらかじめ示しておく)
- レストラン形式の場合・・・配膳は、端から順に配る。おかず担当、ご飯担当など配膳担当のものを決めて配る
- ビュッフェ形式の場合・・・週ごとに並ぶ順番を決め、静かに並ばせ、順にトレイの上に配膳する。(全員マスク着用)
- 給食のあいさつ・・・日直が前に出て、「手を合わせて」「いただきます」。



○手を合わせたときには、全員が席につき自分のおかずがきちんと届いているかどうかを確認。配膳に不備があればすぐに対応。(おかずが足りない時は職員室、給食室に連絡)

### ステップ3「おかわりや量の調整」

給食のおかわりや量の調整には必ず教師がかかわるようにしましょう。

- ・量の調整・・・・・・・・配膳直後に個に応じて量の調整をする。
- ・非固形物のおかわり・・・(量の調整があっても、おかずが残った場合)



食べ終わった人から以下の分量をもらう・・・おかわりは1回

(おかわりが欲しい人をあらかじめ聞き、人数でできるだけ公平に分配できる量)

- ・固形物のおかわり・・・・固形物は班ごとに希望を聞く。(ルールを徹底し公平感を)



1班から、希望を聞きじゃんけんで権利を決めておかわりをする。

次の日は、2班からスタートする。(6班からスタートしてもよい)

### ステップ4「給食の待ち時間」(配膳中・食べ終わったとき)

- ・手をきれいに洗い、洗った手を汚さないようにする
- ・静かに席に座って待つ。(教室を動き回ったり、配膳物に触ったりしないようにする)
- ・ビュッフェ形式の場合はマスクをして配膳台の前に列を作り、配膳されたら席で待つ。

### ステップ5「後片付け」

- ・自分の食器・・・自分の食器は必ず自分で片付けさせる。
- ・学級の食管や食器の片付け・・・食管は片付け動線を考えた配置にする  
乱暴な片付け方や食べ残しがないか点検指導の後、当番で整理

\* 給食時間中に食べ切れなかった場合

基本的には全部食べる(量調節をしている)が、チャイムがなったら残す。

### ステップ6「楽しい会食」

- ・近くの人と話す(基本)・・・大きな声で騒がないようにする。  
放送(音楽)が流れるときは聞こえる程度の声量
- ・食べている最中に立ち歩くのはマナー違反として注意。



給食指導は、学級を安定させることにつながっています。

4月のスタートが肝心といいましたが、今、困ったなと思っている先生方、子どもと問題点を話し合い、改善のステップを踏み出しましょう。

給食タイムの先生のちょっとイイ話や各班からのクイズなど楽しい工夫も、子どもの給食への集中度を高めることもあります。

楽しい給食は楽しい学級づくりにつながります。困ったと感じ始めたら再チャレンジしてみてください。